

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現

43項目 7,190,800

<総合企画局>

1 世界文化自由都市宣言40周年事業 6,000

文化による世界との交流と平和の実現を、本市の都市理念として掲げた「世界文化自由都市宣言（昭和53年）」40周年の節目を機に、宣言の今日的意義や世界文化自由都市・京都の役割等について、市民の皆様と共に考えるシンポジウムや、周知・情報発信する取組等を通じて、改めて宣言の意義を市民の皆様と共有するとともに国内外に発信する。

[総合企画局 市長公室 TEL 222-3035]

2 明治改元記念事業（記念シンポジウムなど）（明治150年関連） 15,000

◆明治改元記念シンポジウム（仮称）

明治改元の詔書が発せられた10月に、先人たちの偉業が現代に果たした役割等について、次代に伝え将来を切り開く教訓を引き出すシンポジウムを開催する。

◆KYOTOGRAPHIE ギメ東洋美術館 明治特別展（仮称）（京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業）

国際的なフォト・フェスティバル「KYOTOGRAPHIE 京都国際写真展」とフランス国立ギメ東洋美術館との繋がりを活かして、幕末から明治期の日本で撮影された貴重な写真コレクションをまちなかの明治ゆかりの場所で展示する。

◆四条地下道タイムトンネル（仮称）

四条通地下道の中央部分で、明治から現代までのまちの変遷をたどる写真展を開催する。

[総合企画局 市長公室 TEL 222-3035]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

3 明治の精神と知恵を今と未来に活かす事業（明治150年関連） 3,000

「大学のまち・学生のまち」京都の特性を活かし、「現代の町衆」とも言える学生たちが、明治期の京都で行われたビッグプロジェクトの時代背景や手法、それを支えた町衆及び偉人の考え等を学び、現代の京都における課題解決や、京都の未来に向けた提言を行う。

[総合企画局 総合政策室 TEL 222-3103]

4 「京都の御大礼－宮廷文化のみやび－」展覧会（仮称）（明治150年関連） 4,500

皇室と共に歩んできた京都の歴史・宮廷文化について改めて市民と共に理解を深めるため、京都で開催された大正天皇・昭和天皇の御大礼（即位礼・大嘗祭）を中心とする記念展覧会等を、民間事業者等と連携して開催する。

[総合企画局 総合政策室 TEL 222-3375]

5 京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業 34,200

パリ市（フランス共和国）との友情盟約締結60周年を記念して、両市の代表団の相互派遣を行う。また、京都市内において、パリの文化を紹介する事業のほか、パリ市で活躍する若手アーティストとの交流事業を実施するとともに、パリ市内において、能とファッションを融合させたショーをはじめとする日本文化の魅力発信などを行う記念式典を開催し、市民・民間団体等による交流を一層深める。

全体事業費 51百万円（政策34百万円、政策以外17百万円）

[総合企画局 国際化推進室 TEL 222-3072]

【局配分枠等における主な新規・充実事業（総合企画局）】

[新規事業]

◇次期基本計画策定に向けた取組（基礎調査） 15,000

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

<行財政局>

6 明治150年記念京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品展(明治150年関連) 1,600

市立芸術大学芸術資料館に収蔵されている明治以降の卒業作品等を活用し、市立芸術大学の創立以降の道筋を辿る企画展のほか、市立芸術大学と同じく明治に開園した動物園とも連携した収蔵品展を開催する。

[行財政局 総務課 TEL 222-3045]

<文化市民局>

7 京都コンサートホールの機能維持・長寿命化に向けた修繕計画の策定 13,000

京都コンサートホールは、竣工後20年以上経過し、今後、大規模修繕を控えていることから、施設の劣化度調査を行うとともに長寿命化を見据えた修繕計画を作成する。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

8 京都文化カプロジェクト2016-2020の実施 28,000

東京2020オリンピック・パラリンピック等の開催を契機として、世界に向けて京都の文化芸術を発信し、体感していただく文化の祭典を市・府・京都商工会議所のオール京都で実施している。

30年度は、「美術・工芸」をテーマとした公募展やシンポジウム等を行う。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

9 東アジア文化都市交流事業 14,600

29年に開催した「東アジア文化都市」事業の成果を踏まえ、多様で成熟した文化の交流に取り組み、文化の力で東アジアの平和的発展に貢献するため、同時開催都市である中国・長沙市、韓国・大邱広域市と、青少年や文化芸術団体による交流を実施するとともに、昨年度に引き続き「東アジア文化都市サミット」に参画する。

全体事業費 16百万円(政策15百万円, 政策以外1百万円)

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

10 文化芸術創造拠点・京都プロジェクト 220,000

文化庁において30年度に新たに創設される「国際文化芸術発信拠点形成事業」を活用し、芸・産学官の連携により、文化芸術を社会の基盤と位置付けて社会的・経済的価値を創出するとともに、東京2020オリンピック・パラリンピックとその後を見据えた国際発信力のある拠点の形成や、訪日外国人の増加などに取り組む。

30年度は、31年度に実施予定であるフェスティバル（文化芸術事業）の開催に向けて、芸・産学官のあらゆる分野から参画する実行委員会を設立し、フェスティバルへの積極的な参加や来場を促すPR活動としてプレ事業を実施するなど、広く国内外に情報発信していく。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

11 新・文化庁の機能強化との連携事業【宿泊税充当】 37,600

文化庁が京都への全面的移転に向けて示した方針（29年7月「新・文化庁の組織体制の整備と本格移転に向けて」）においては、「文化芸術によって公共的・社会的又は経済的な様々な価値が創出され、それが更なる文化芸術の継承、発展及び創造に活用されるような施策の展開」を目指している。

本市としても、新・文化庁の機能強化の方針を踏まえ、文化庁と連携を図りながら、京都が「文化芸術資源を活用した地方創生のモデル」となり、文化芸術都市・京都の都市格をより一層高めることを目指す。

◆Res Artis（レザルティス）2019京都会議の開催 5,600

国際文化交流を推進し、アーティスト・イン・レジデンスのネットワークを充実させるため、「Res Artis（レザルティス）」(※)の例会を開催する。

(※) レザルティス…世界70箇国、600以上のアーティスト・イン・レジデンス実践団体などで構成されるネットワーク組織

◆伝統芸能文化創生プロジェクト 17,000

伝統芸能に関する保存・継承・普及等の総合的な観点から、伝統芸能を取り巻く課題の改善に取り組むプロジェクトを実施する。本市の伝統芸能の活性化を図るとともに、文化庁とも連携し、全国の関係機関とのネットワーク構築を推進することで、日本の伝統芸能文化の振興に取り組み、事業効果の全国への波及を目指す。

◆文化芸術による共生社会実現のための基盤づくり事業 8,000

文化芸術の力による社会的課題の緩和・解決に向け、文化芸術と社会課題をつなぐコーディネーターの育成や、文化芸術の取組に着手しようとする際の相談窓口の設置など、文化芸術による共生社会実現のための基盤づくりに取り組む。

① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現

[単位：千円]

◆若手芸術家の新たな活動拠点の形成 2,000

若手芸術家の支援策として、東山アーティスト・プレイスメント・サービス実行委員会（HAPS）を組織し、これまでから、地域と協働し、空き家の紹介や制作場所の提供等、居住・制作・発表の場づくりに取り組んでいる。

30年度は、「若者」、「文化芸術」をテーマに活性化を図る京都駅東南部エリアにおいて、若手芸術家の新たな活動拠点の形成に資する事業を重点的に実施する。

◆暮らしの文化はぐくみ事業 5,000

京都の暮らしの中で生まれ、根付いてきた生活文化を次世代へ継承するため、子どもたちがこれらの文化を体験できる普及啓発事業等を実施する。

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

[文化市民局 文化財保護課 TEL 366-1498]

12 子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出【宿泊税充当】 10,000

一流の芸術家を小・中学校等に派遣し、ワークショップ等を実施する「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」と、中学生を対象に、能楽堂等の本格的な舞台で伝統芸能公演を鑑賞する「ようこそ和の空間 伝統芸能公演とくべつ授業」を一体的な取組として実施し、「伝統産業・文化の担い手育成」の一環として、子どもたちが「ほんもの」の文化芸術を体験する入り口の機会を創出する。

30年度は、茶道・華道等のワークショップ及び伝統芸能公演の実施回数を充実するとともに、他の「担い手育成」に資する事業との連携を図る。

全体事業費 26百万円（政策10百万円、政策以外16百万円）

[文化市民局 文化芸術企画課 TEL 366-0033]

13 “京都を彩る建物や庭園”助成制度【宿泊税充当】 20,000

“京都を彩る建物や庭園”制度において、従来の「ランクアップ助成」を拡充し、「選定」及び「認定」した建物や庭園の修理等に対して補助金を交付し、これらの建物や庭園の維持・継承の支援や公開などの活用につなげることにより、市民の皆様や観光客の皆様に多様な文化遺産に触れていただく機会を創出する。

実施内容

- | | | |
|-----|---------|-----------------|
| ・認定 | 公開・活用物件 | 補助率1/3, 限度額5百万円 |
| | 非公開物件 | 補助率1/3, 限度額3百万円 |
| ・選定 | 公開・活用物件 | 補助率1/3, 限度額1百万円 |

[文化市民局 文化財保護課 TEL 366-1498]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

14 世界遺産「古都京都の文化財」の包括的保存管理計画策定に向けての予備調査業務【宿泊税充当】 **19,000**

世界遺産「古都京都の文化財」の計画的な保全を図るため、包括的保存管理計画の策定に向けた現況調査や緩衝地帯における規制の変遷等の調査を行う。

[文化市民局 文化財保護課 TEL 366-1498]

15 京都市美術館再整備事業 **6,030,300**

◆再整備事業 **5,653,400**

80年以上にわたり京都の文化芸術を牽引してきた京都市美術館について、近代建築として高い評価を得ている本館を保存・継承しつつ、様々な展示に対応できる新たな展示室と収蔵庫を備えた新館を建設する。これにより、美術館機能の強化を図るとともに、アメニティ機能の充実、バリアフリー化等、現代のニーズに応える美術館を目指す。

30年度は、29年度に引き続き再整備工事を行う。

◆開館準備プロジェクト **376,900**

開館準備の一環として、初度調弁を行うとともに、展覧会準備や作品購入、開館に向けた運営企画業務等を行う。

[文化市民局 美術館 TEL 771-4107]

16 新たな「京都市動物園構想」の策定～世界水準の生き物・学び・研究機関を目指して～ **5,000**

31年度に「京都市動物園構想」が策定後10年の節目を迎えるに当たり、多様化する環境教育のニーズに対応するとともに、国の科学研究費補助金承認機関として認定を受けたことを機に、全国の動物園の中で希少動物の繁殖や研究・教育において、主導的な役割を果たしていくため、未着手であるサルワールドの再整備の検討を含めた新たな構想を策定する。

[文化市民局 動物園 TEL 771-0210]

17 パリ動物園交流事業（京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業） **4,700**

パリ市との友情盟約締結60周年を契機として、パリ動物園から、ヨーロッパオオヤマネコを導入するとともに、記念事業としてシンポジウムなどを開催する。

[文化市民局 動物園 TEL 771-0210]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

18 二条城の保存・活用推進 204, 200

文化財の保存と活用のモデルとなることを目指し、有識者からなる「二条城の価値を活かし未来を創造する会」からの提案等を踏まえ、二条城の保存・活用を推進し、その価値を将来にわたり受け継いでいくための取組を推進する。

- ◆ホームページリニューアル等によるおもてなし機能向上
- ◆ガイドブック作成等による文化財理解促進
- ◆チケット販売多様化に係る整備
- ◆重要文化財（建造物）本丸御殿公開にかかる基本設計
- ◆外堀石垣景観整備
- ◆和楽庵保存修理
- ◆城内園路・通路改修
- ◆未公開文化財の整備 など

[文化市民局 元離宮二条城事務所 TEL 841-0096]

19 いま明治を考えるプロジェクト（明治150年関連） 7, 000

歴史資料館が所蔵している明治期以降の資料群を活用し、京都の明治時代を紹介する特別展や講演会などを開催するとともに、明治期の京都のまちの歴史的推移を物語るフィルム等を修復、整理し、次の世代に引き継ぐ。

[文化市民局 歴史資料館 TEL 241-4011]

20 世界文化自由都市宣言40周年を契機とした、文化都市・京都の発信・発展のための新たな顕彰制度の創設 3, 000

世界文化自由都市宣言に掲げる「優れた文化を創造し続ける永久に新しい文化都市」の実現に向け、宣言から40年を契機に、文化都市・京都の発展に大きな役割を果たしてきた文学をはじめ文化を対象とする新たな顕彰制度について、有識者等の意見も踏まえて検討し創設する。

[文化市民局 文化市民総務課 TEL 222-3108]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

21 “明治維新150年記念企画”魁！！山国隊プロジェクト(明治150年関連)
2,000

戊辰戦争時に山国村の郷土が官軍に加わり活躍した「山国隊」と禁裏御料地(天皇が領主となる皇室領)として歴史的な魅力が多い京北山国地域にスポットを当てた魅力発信等の事業を実施し、地域の認知度の向上や交流人口の増加等につなげる。

[文化市民局 地域自治推進室 TEL 222-3049]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(文化市民局)】

[新規事業]

- ◇重要文化財等緊急保存処理事業 2,000
- ◇明治150年記念・全区リレー事業(明治150年関連) 2,000
(区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算の共汗型事業として実施)

<産業観光局>

22 「京都×パリ」京ものアート市場開拓支援事業(京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業)
29,000

パリ市との友情盟約締結60周年を契機として、両市の職人・アーティストとの相互交流による商品開発を行い、フランスを中心とするアート市場をターゲットとした展示商談会への出展により、京都の伝統産業製品の販路開拓につなげる。

[産業観光局 伝統産業課 TEL 222-3337]

23 京都・パリ友情盟約締結60周年を契機とした産業・観光振興(京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業)
10,000

パリ市との友情盟約締結60周年並びに京都商工会議所・パリ商工会議所友好協定締結30周年を機に、京都の伝統や技術を活かした商品・素材を一堂に集めた展示商談会「京都知恵ビジネスメッセ in PARIS」を京都商工会議所と共同開催し、京都企業の技術・商品等の京都の魅力をアピールする。

[産業観光局 産業政策課 TEL 222-3325]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

24 京都伝統産業ふれあい館リニューアル事業【宿泊税充当】 債務負担行為

伝統産業製品の需要拡大・伝統産業の担い手育成に向け、京都伝統産業ふれあい館の更なる魅力向上や伝統産業製品の販売促進機能の強化を図るためのリニューアルを実施する。

年次計画 29～30年度 設計

30～31年度 リニューアル工事

工事費 265百万円（30年度 0, 31年度 265百万円）

[産業観光局 伝統産業課 TEL 222-3337]

25 明治150年記念伝統産業活性化支援事業（明治150年関連） 4,000

明治期に転換期を迎えた京都の伝統産業の歩みを振り返り、学び、その価値を再認識し、未来に向けた挑戦につなげていくため、伝統産業界が実施する販路開拓等の取組を支援し、府市協調により京都の伝統産業の活性化を図る。

[産業観光局 伝統産業課 TEL 222-3337]

26 京都MICEブランド・コンテンツ強化事業【宿泊税充当】 10,000

伝統産業製品を活用した「MICE開催に必要な物品の貸出し制度」の導入や、京都ならではの文化を取り入れたエクスカージョン（体験・見学）メニューの開発を行うことで、伝統産業・伝統文化の振興を図るとともに、本市へのMICE誘致を更に推進する。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

27 明治・京都の精神文化に触れる観光メニューの造成・発信（明治150年関連） 3,000

明治150年を機に、明治期の日本人の精神文化を学び、現代に息づく明治の歩みに触れる観光メニューの造成・発信に取り組むことで、国内外の観光客の誘客を図る。

[産業観光局 観光MICE推進室 TEL 746-2255]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

28 MANGAナショナル・センター（仮称）誘致推進事業 17,000

MANGAナショナル・センター（仮称）の誘致に向けた機運を高めるため、民間事業者と連携した京都国際マンガミュージアムの情報発信強化や、マンガを活用した京都の魅力（食文化、和装文化等）のPRを実施する。

[産業観光局 新産業振興室 TEL 222-3324]

29 マンガ・アニメ・映画を活用した市内産木材普及モデル事業 4,600

「豊かな森を育てる府民税交付金」を活用し、北山丸太をはじめとした市内産木材の需要拡大や認知度向上に向け、農商工（林業とコンテンツ産業）連携モデルとして、京都国際マンガミュージアムの調度品（机・椅子等）の木質化を実施する。

[産業観光局 林業振興課 TEL 222-3346]

<保健福祉局>

30 「障害者芸術」の活性化を契機とした新たな文化芸術の魅力発信（京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業） 10,000

障害のある方による芸術活動の活性化を図り、社会参加を促進していくため、NPO法人とも連携して、「障害者アート」活性化プロジェクトを実施する。

実施内容

- ・福祉施設や総合支援学校において文化芸術に触れ、創造する機会の創出
- ・文化市民局等と連携のうえ、パリの障害者芸術等、様々な分野の芸術作品と京都市内の障害者芸術作品の作品展の開催

[保健福祉局 障害保健福祉推進室 TEL 222-4161]

<都市計画局>

31 京町家の保全及び継承に関する取組の充実・強化【宿泊税充当】 178,900

29年11月に制定した「京都市京町家の保全及び継承に関する条例」に基づき、京都ならではの個性豊かで洗練された景観・文化の象徴である京町家を将来の世代に継承していくための取組を充実・強化する。

◆京町家所有者の保全・継承に係る助成制度の創設・拡充

- ・京町家改修助成 25,100
趣のある町並みや生活文化の保全・継承の観点から特に重要であるため、重要京町家及び京町家保全重点取組地区に存する京町家（取壊しの事前届出義務の対象）の維持・保全を図るための改修工事に対し、助成を行う。
- ・重要京町家維持修繕助成 18,000
重要京町家の維持・保全を図るため、日常的に必要となる小規模な修繕に対し、助成を行う。
- ・耐震化支援事業の強化 53,900
京町家の耐震化を更に促進するため、耐震改修工事に係る助成制度の充実等を行う。
- ・景観の形成又は文化の継承に重要な京町家の修理・修景等に対する助成等 13,400
重要京町家の適切な保全・継承の担保性を高めるため、歴史的風致形成建造物の指定に必要な調査を実施するとともに、助成件数を充実する。
- ・歴史的建築物保存活用計画作成助成 5,000
「京都市歴史的建築物の保存及び活用に関する条例」を適用し、建築基準法の適用除外として増築等を行う際に必要となる「保存活用計画」の作成に対する助成件数を充実する。

◆京町家の流通・活用機会の確保

- ・市の介在する京町家の賃貸モデル事業 1,600
京町家のストックを市場に流通させるため、本市が借り上げ、民間事業者に賃貸し、住まいとして賃貸を行うモデル事業を実施する。
- ・京町家再生ファンドの構築に係る調査研究 2,600
資金調達面で課題を抱える京町家の受け皿とするため、民間資金による京町家再生ファンドの構築に向けた調査・検討を行う。
- ・京町家保全重点取組地区の指定に向けた調査及び所有者への周知等 9,240

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

◆京町家の価値の共有

- ・京町家に関する普及啓発 26,860
京町家所有者に対する各種支援制度の周知広報や、重要京町家を称えるプレート等の交付を行う。
- ・京町家の文化教育プログラムの開発・実施 5,000
事業者・専門家及び学校教育向けの京町家に関する教育研修プログラムを作成し、京町家が持つ価値や、京町家で培われた生活文化等について学ぶ機会を創出する。
- ・京町家の国際文化発信事業の実施（京都・パリ友情盟約締結60周年記念事業） 3,200
京都とパリの学生や若手の実務者等による、京町家等の歴史的建造物の保全・活用を含む両都市の都市課題の解決や魅力の向上に向けた、都市デザインに関するワークショップ等を開催する。

◆京町家の保全・継承の取組の効果を高める施策

- ・京町家保全・継承推進事業に係るふるさと納税の募集 1,000
- ・新築京町家の基準の検討 2,500
京町家の特徴を継承した新築建物の基準の検討に着手する。
- ・建築基準法の適用除外に係る包括同意基準の拡充に向けた検討 11,500
建築基準法適用除外制度における包括同意基準の拡充を目的として、基準拡充に必要な技術的知見を得るために、木製建具の燃焼実験等の検討を行う。

全体事業費 325百万円（政策179百万円，政策以外146百万円）

[都市計画局 まち再生・創造推進室 TEL 222-3503]

[都市計画局 建築指導課 TEL 222-3620]

[都市計画局 建築安全推進課 TEL 222-3613]

32 「新景観政策」の更なる進化に向けた調査・検討【宿泊税充当】 16,000

「新景観政策」の実施から10年が経過し、この間の成果と課題を踏まえ、これからの歴史・文化・創造都市としてふさわしい「新景観政策」の更なる進化に向け、審議会を設置し、調査・検討を行うとともに、シンポジウム等を開催する。

また、魅力ある夜間景観づくりに向け、市内の夜間景観の現状調査等を行う。

[都市計画局 景観政策課 TEL 222-3397]

<都市計画局・建設局>

33 歴史的景観の保全に関する取組の充実【宿泊税充当】 91,200

◆歴史的景観の保全に関する景観政策の充実 26,200

世界遺産をはじめとする寺社等とその周辺の歴史的景観を保全するため、景観規制の強化等を行う京都市眺望景観創生条例の改正等に合わせ、歴史的な建造物等を保全するための支援策の充実や、景観に関する様々な情報、関連施策を共有できるシステムの構築等に取り組む。

[都市計画局 景観政策課 TEL 222-3397]

◆歴史的景観を保全・継承する京の道づくり 65,000

世界遺産をはじめとする寺社等の歴史的資産周辺の通りにおいて、規制や支援の充実、地域と協働した景観づくりを進める「歴史的景観の保全に関する景観政策の充実」の実施に併せて、訪れる人を魅了するだけでなく、地域の価値を高めるため、周辺景観と調和した舗装等を実施する。

30年度は、北野天満宮の周辺道路を整備する。

[建設局 土木管理課 TEL 222-3568]

<建設局>

34 「文化芸術都市・京都」の新たな文化ゾーンの創出に寄与する「高瀬川再生プロジェクト」の推進【宿泊税充当】 8,000

高瀬川については、一之舟入（二条通付近）から五条通までの護岸改修や水枯れ対策を計画的に進めている。

「京都駅東南部エリア活性化方針」（29年3月策定）を契機として、五条以南についても、魅力ある水辺空間など、上流・下流が調和した改修手法の検討を行うことに加え、京都駅東南部エリアについては、創作活動にふさわしい環境の創出に向けた基礎調査等を実施する。

[建設局 河川整備課 TEL 222-3591]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

35 明治産業遺産としての梅小路チンチン電車再生事業（明治150年関連）
31,500

梅小路公園において運行している希少な明治期の市電「チンチン電車」を知って、触れていただける機会を創出するとともに、老朽化した車両の修復を行う。

[建設局 みどり政策推進室 TEL 741-8600]

【局配分枠等における主な新規・充実事業(建設局)】

[新規事業]

◇京都の近代化を支えた土木施設を巡るツアー（明治150年関連） **1,000**

<教育委員会>

36 国際博物館会議（ICOM）京都大会開催に向けた機運づくり（プレイベント等の開催や市内博物館ネットワークの更なる充実） **30,000**

31年度の国際博物館会議（ICOM：アイコム）京都大会開催に向け、府市協調によるシンポジウムの開催や本市独自のプレイベント、市内博物館振興に向けたPR等を実施し、大会開催に向けた機運づくりを推進する。

全体事業費 32百万円（政策30百万円、政策以外2百万円）

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 251-0420]

37 学校歴史博物館 明治150年・開館20周年記念特別展(明治150年関連)
12,000

30年は「明治150年」という大きな節目であると同時に、学校歴史博物館の開館20周年という記念すべき年であり、明治2年に我が国初の学区制小学校として創設された番組小学校をはじめとした学校史や京都画壇及び国画創作協会等に関する企画展を開催する。

[教育委員会事務局 学校歴史博物館 TEL 344-1305]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

38 明治時代の史跡を巡る『京都ヒストリカルロード』マップ（明治編）」の制作・活用（明治150年関連） 1,000

明治期の文化・産業・経済などに焦点を当て、その足跡をたどるルートマップを作成し、このマップを活用したまち歩き事業やセミナーを実施する。

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 801-8822]

39 銅駝美術工芸高校所蔵品展（明治150年関連） 1,000

明治13年に創設された我が国初の画学校を沿革とする銅駝美術工芸高校にゆかりのある作家から寄贈を受けた作品等を時代区分に応じて展示することで、芸術文化の変遷及び作品の時代背景の移り変わりを体感することができる所蔵品展を開催する。

[教育委員会事務局 学校指導課 TEL 222-3811]

40 京都市平安京創生館「明治150年記念 宮廷社会の食文化」（明治150年関連） 300

明治維新以後に起こった伝統的な宮廷食文化の変化も含めた、平安時代以降脈々と受け継がれてきた宮廷社会の食文化に係る展示等を実施する。

[教育委員会事務局 生涯学習部 TEL 801-8822]

【局配分枠等における主な新規・充実事業（教育委員会）】

[新規事業]

◇中学校総合文化祭における明治150年をテーマとした展示等の実施（明治150年関連） 700

<環境政策局>

41 「京都宣言」の発信～都市間連携の強化による脱炭素化の達成へ～ 13,900

29年12月開催の「地球環境京都会議2017(KYOTO+20)」において、本市が中心となり、温室効果ガスの大排出源である都市の責務を示した「持続可能な都市文明の構築を目指す京都宣言」(以下「京都宣言」という。)を発表した。「京都宣言」の理念を市民と共有することはもとより、都市間連携の強化による今世紀後半の脱炭素化の達成を目指して、「国連気候変動枠組条約第24回締約国会議(COP24)」や「イクレイ世界大会2018」に参加し、「京都宣言」を全世界に発信する。また、「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)第49回総会」の本市での開催に向けた取組を行う。

[環境政策局 地球温暖化対策室 TEL 222-4555]

42 食品ロス削減等推進事業 13,000

ごみ量の約4割を占める生ごみ、とりわけ手付かず食品や食べ残しといった「食品ロス」の削減に重点的に取り組む。

◆食品ロス削減推進販売店舗認定制度(仮称)の創設 6,000

販売期限の延長などによる食品廃棄の抑制効果を調査するとともに、食品ロス削減に積極的に取り組む小売店を「食品ロス削減推進販売店舗」として認定し、店舗と連携した情報発信等により、食品ロス削減に向けた取組を促進する。

◆コンビニエンスストア及び食品スーパーから排出される食品ロスに係る調査

4,000

市内小売業(主にコンビニエンスストア及び食品スーパー)における食品ロス削減について、事業者が実施している優良な取組を普及・拡大するための方策を検討するとともに、食品廃棄量の調査やリサイクル可能量の推計を行い、食品ロス削減につなげていく。

◆食品ロス削減全国大会の開催 3,000

食品ロス削減に取り組む自治体が参加する「全国おいしい食べきり運動ネットワーク協議会」とともに、本市において「食品ロス削減全国大会」を開催し、市民・事業者の食品ロス削減に対する理解を深め、積極的な実践につなげていく。また、全国の自治体との連携・協働に積極的に関わり、食品ロス削減に向けた全国的な機運の醸成を図る。

全体事業費 23百万円(政策13百万円, 政策以外10百万円)

[環境政策局 ごみ減量推進課 TEL 213-4930]

(① 日本の“こころの創生”を牽引する「世界の文化首都・京都」の実現)

[単位：千円]

43 紙ごみ削減推進事業

23,700

雑がみ等紙ごみの削減に重点的に取り組むため、コミュニティ回収制度の助成対象をマンション管理会社にも拡充するとともに、徹底した分別指導を行う指導員4名を新たに配置し、コミュニティ回収制度の利用等による古紙回収の促進やごみ分別の啓発・指導を行う。

また、大学生等を「大学生・ごみ減量サポーター」として任命し、自らが実践する2Rや分別の取組をSNSで広く発信してもらうことで、若年層の雑がみ等紙ごみの分別を促進する。

[環境政策局 ごみ減量推進課 TEL 213-4930]